

平成 21 年度 当事者活動奨励賞受賞者

高山 仁志さん 音楽活動（バイオリン）
N P O 法人いわて 脳外傷友の会・イーハトーブ会員

常石 勝義さん フルマラソンに挑戦
脳外傷友の会・しが会員

鈴木 教子さん 絵画制作
脳外傷友の会・しづおか会員

佐藤 珠代さん 絵画制作
脳外傷友の会・しづおか会員

平成21年度 当事者活動奨励賞受賞者のことは

私はでっかい馬の騎手として馬に跨ることは叶えられなかつたけど。馬に触れている時、馬語で通じあえるんです。ホンマもんの自分でいられる。時々仲間にこの牝馬・彼女にどうやうひをや
高山 仁志の一言二言

脳外傷友の会 イーハトーブ会員

ヴァイオリンとの出会いは5歳の頃です。外で遊んでいた時に、ある窓から流れてくる音色に、とても興味を持って、わくわくしながら音の正体をさがしに行ったのがきっかけだったそうです。

10歳の時、もやもや病で倒れて、ぼんやりした頭の中にもゆっくりとその音は入ってきました。

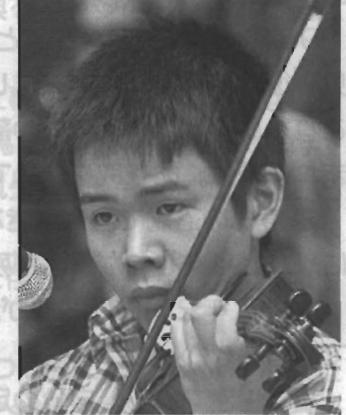
「また弾いてみたいな」

そんな気持ちが、体や指を動かしてくれるようになって、何度も繰り返してやって、ため息もいっぱいいました。いまでもまだちゃんと手が動かせなくて悔しいことがたくさんあります。

今年、宮城障がい者職業能力開発校で寮生活をしながら、訓練をしています。自宅の時よりは練習が減りましたが、時々放課後の教室を借りて練習をしています。病気を抱えている方を励ます演奏をした時、挨拶の握手をした時

「ありがとうね。あなたもがんばってね。」と声をかけてもらうのが嬉しいです。

ヴァイオリンは、自分を励ましてくれる大切なものです。



いつもお世話になります。

この度、息子への賞を推薦頂きまして本当にありがとうございました。

まだまだ世間知らずの若輩者に、正直本人も戸惑っておりました。

ヴァイオリンを弾けることは、本当にラッキーなことでした。

汗を流して努力することは少々違いますが、

難病を抱える人たちと、ともに励まし合う意味で音楽活動をしております。

音楽療法の時や、病院のロビーで弾かせてもらうとき、

患者さんがたも喜んでくださるので、本人はそれを励みにしております。

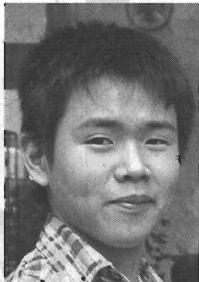
受賞の言葉にマッチするか不安ですが、

何行か書きましたのでよろしくお願ひいたします。

高山 瞳

• 平成21年度当事者活動奨励賞受賞者 •

35



高山 仁志さん
音楽活動（バイオリン）
NHK・TV『きらっと生きる』に出演など
脳外傷友の会 イーハトーブ会員

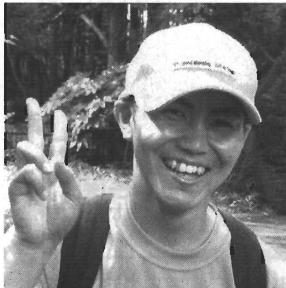


図1 脳門家が果たした役割内容

常石勝義さん

あふれる笑顔で努力の毎日
フルマラソンに挑戦し完走
脳外傷友の会・しが会員

30

25

20

15

10

5

0

鈴木教子さん

絵画制作 脳外傷友の会「しずおか」会報の表紙を担当
脳外傷友の会・しずおか会員

30

25

20

15

10

5

0

佐藤珠代さん

絵画制作 脳外傷友の会「しずおか」の会報の表紙を担当
脳外傷友の会・しずおか会員